

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2023年12月28日

事業所名：さくらこどもセンター エリクソン校

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
さくらこどもセンターの基本方針	1	発達特性に合わせた専門性の高い支援が行われているか	さくらこどもセンターの基本方針であるチェック項目①～⑤については、さくらこどもセンターで日々お子様と向き合う時に大切にしている、指導の視点です。	100% (52人)	0% (0人)	0% (0人)	0% (0人)	
	2	発達段階に合わせた支援プログラムが提供されているか		96% (50人)	2% (1人)	0% (0人)	2% (1人)	
	3	こどもの自立を目標とした適切なサポートをしているか		98% (51人)	0% (0人)	0% (0人)	2% (1人)	
	4	指導内容やこどもの様子(成長点、課題点)が伝わるよう記録を作成できているか		100% (52人)	0% (0人)	0% (0人)	0% (0人)	
	5	指導者はこどもの見本となる丁寧な言葉遣いをしているか		100% (52人)	0% (0人)	0% (0人)	0% (0人)	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令を遵守したスペースを確保しています。	100% (52人)	0% (0人)	0% (0人)	0% (0人)	
	2	職員の適切な配置	法令で必要とされている配置数に加え、保育士または児童指導員を追加配置しています。	90% (47人)	2% (1人)	0% (0人)	8% (4人)	
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	部屋を構造化し、どこで何を行うか視覚的にわかりやすく提示しています。動線を考慮し危険のないよう配置しています。	96% (50人)	2% (1人)	0% (0人)	2% (1人)	完全なバリアフリー化については、構造上の難しさもありますが、手すりを設置したり、指導者が介添えしたり安全面に配慮するようにしています。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	子ども達に好まれる色彩感覚豊かな生活空間や配置を心がけています。感染症対策として、各部屋に空気清浄機・アルコール・足踏み式ごみ箱等を設置しています。	96% (50人)	2% (1人)	0% (0人)	2% (1人)	
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的に担当者ミーティングを行い支援目標の確認や振り返り、改善点の共通理解をしています。					
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施					第三者による外部評価については実施の予定はありませんが、今後必要に応じて検討して参ります。	
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月スタッフ会議を行い専門性のスキルアップ研修会を行っています。					

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	期間ごとにアセスメントを行い個別支援計画書を作成しています。	96% (50人)	4% (2人)	0% (0人)	0% (0人)	
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団指導における課題目標に個人の目標を組み合わせ個別のニーズを把握して計画書を作成しています。					
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	アセスメントを元に優先順位に基づき支援内容を設定し、具体的な支援内容を記載しています。	98% (51人)	2% (1人)	0% (0人)	0% (0人)	通常の送迎時にお話させていただく時間も限られてしまいますので、個別相談のご利用や、改めてお話させていただく機会を持たせて頂きます。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	具体的な支援内容を遂行できるよう支援計画書をファイリングしスタッフが把握、確認しています。	100% (52人)	0% (0人)	0% (0人)	0% (0人)	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	担当スタッフの話し合いにより活動プログラムを立案し、また改善を行っています。					
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援						
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	こども達のニーズに合った有効な療育となる活動を工夫し、定期的に内容の点検を行っています。	92% (47人)	2% (1人)	0% (0人)	6% (3人)	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	開始時間前に担当スタッフ間での情報共有や指導プログラムの内容について確認を行っています。					
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日終了後にスタッフ間で振り返りと申し送り事項の確認を行い責任者への報告を行っています。					
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎回指導記録を取り、保護者に報告、共有すると共にお子さんの変化に応じ指導内容の更新をしています。					
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	法令に基づき6ヶ月ごとのモニタリング及び個別支援計画の見直し、作成を行っています。					

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	スタッフ全員がお子さんの状態を把握しチームでの支援を展開しています。サービス担当者会議が開催された場合には参加しており、相談支援事業所へ主に電話による情報提供や情報共有もあわせて行っています。					
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施						
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備						
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者からの要望に応じて保育所や認定こども園、幼稚園、小学校等との情報共有を行っています。療育の見学や研修に多くの園から先生方が来られています。令和2年4月1日より保育所等訪問支援事業を開始しております。					
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	保護者からの要望に応じて、情報提供できる体制を整えています。					
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進						
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・コロナ対策をしながら、兄弟姉妹、オオルリ、パイナップルスクールのお子様と一緒に活動するイベントを再開しています。【8月6日(日)サマースクール、12月3日(日)クリスマス会】 ・放課後等デイサービスでは利用者の兄弟姉妹が参加できる機会を設けています。	45% (23人)	8% (4人)	4% (2人)	43% (22人)	パイナップルスクールのイベント【3Dプリンター親子教室】にも参加していただけるので、周知をしていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営						

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	施設の見学時や契約時に支援内容やシステムの説明をしております。	92% (48人)	4% (2人)	2% (1人)	2% (1人)	給付費対象外のサービス内容につきましては、重要事項説明書に記入、また別途お知らせ等を通じてお伝えするようにしております。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリングの際に、支援計画書に基づき現状の報告をさせていただくと共に、学校やご家庭でのお困り事をお尋ねし支援の内容をご相談しています。	98% (51人)	2% (1人)	0% (0人)	0% (0人)	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	個別相談会の実施により、お困り事や支援の方法についてご相談をお受けしています。 保護者様、先生方を対象とした発達障がいオンライントレーニングプログラムを実施しております。 通常のペアレントトレーニングだけでなく、R4年4月よりZOOMによるオンラインペアレントトレーニングも開始しております。 Instagramでは、代表からのワンポイントアドバイス動画等を掲載しております。 今年3月23日40回目で一旦終了しましたインスタライブでは子育て、SST療育のお話をしたり、ご質問やお悩みにお答えするコーナーを設けておりました。(アーカイブで残しており、随時閲覧可能)	79% (41人)	8% (4人)	0% (0人)	13% (7人)	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳にできるだけ具体的かつ詳細にお子様様の状況や課題について記載しています。	94% (49人)	6% (3人)	0% (0人)	0% (0人)	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	個別相談会の実施だけでなく、ご相談があった際にはできる限りの助言をしております。内容によっては責任者から専門的なアドバイスをさせていただきます。	92% (48人)	4% (2人)	2% (1人)	2% (1人)	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在、保護者会や父母の会はありません。	43% (22人)	13% (7人)	6% (3人)	38% (20人)	本年より、「女性のための心のマルシェ」を開催し、子育ての話から手仕事のレクチャー、趣味の話から起業の話など、自然に包まれた環境でリアルに保護者様同士も交流していただける場を提供しております。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情受付は随時実施し、苦情解決責任者等が対応いたします。	65% (34人)	4% (2人)	0% (0人)	31% (16人)	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮		94% (49人)	2% (1人)	0% (0人)	4% (2人)	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	「さくら日記」と題して、活動内容をお伝えするブログの更新とともに、保護者の皆様にさくらこどもセンターグループLINEに登録頂き、行事予定、連絡事項などを発信しております。また必要に応じて各種案内を配布しています。	96% (50人)	2% (1人)	0% (0人)	2% (1人)	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報書類は職員室にて厳重保管しています。ブログでの発信の際には、画像処理をおこない個人が特定できないように配慮しています。	90% (47人)	2% (1人)	0% (0人)	8% (4人)	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
非常時等の 対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	86% (45人)	2% (1人)	2% (1人)	10% (5人)	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	88% (46人)	0% (0人)	2% (1人)	10% (5人)	
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応					
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在身体拘束を行う事例はありません。				
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギー対応表を部屋に設置するとともに、保護者の方からの聴取及びアンケートに基づき、アレルギー一覧表を作成し、おやつ提供、クッキングなどの際に、職員誰もが確認できるように対応しています。				
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例集を作成し、職員間内でも情報の共有をはかるとともに、対応策について検討しています。				

※基本は合計52名。ただし「適切な支援の提供④⑤」については、お1人ずつ回答空白のため、合計51人で計上